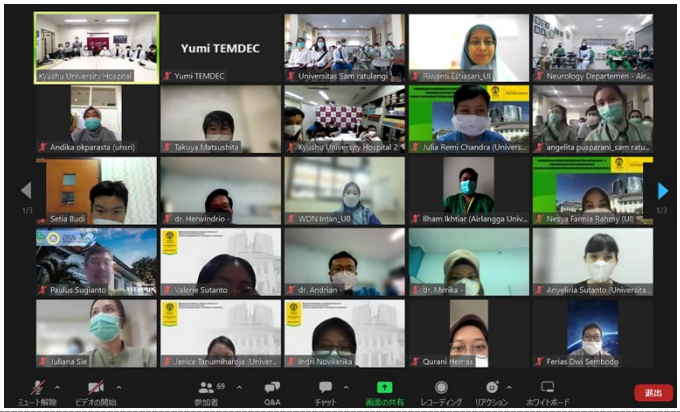
#1678

2023.02.07

第33回 インドネシアとの神経内科カンファレンス

【参　加　施　設】	【概　要】
インドネシア大学（インドネシア），サムラトランギ大学（インドネシア），ガジャ・マダ大学（インドネシア），ブラウィジャヤ大学（インドネシア），スリウィジャヤ大学（インドネシア），セベラス･マレット大学 ムワルディ病院（インドネシア），アイルランガ大学（インドネシア），九州大学病院（日本），高知大学（日本）	今回、インドネシアの病院が経験した原因不明の頭痛、視覚障害、脊髄障害の症例に関して、九州大学病院と高知大学医学部附属病院、インドネシアの脳神経内科医師の間で症例検討会を実施した。カンファレンスでは、新たな鑑別疾患が複数挙がり、具体的な追加検査項目や今後の治療方針について議論され、本症例の原因の特定に向けて前進できたと考える。

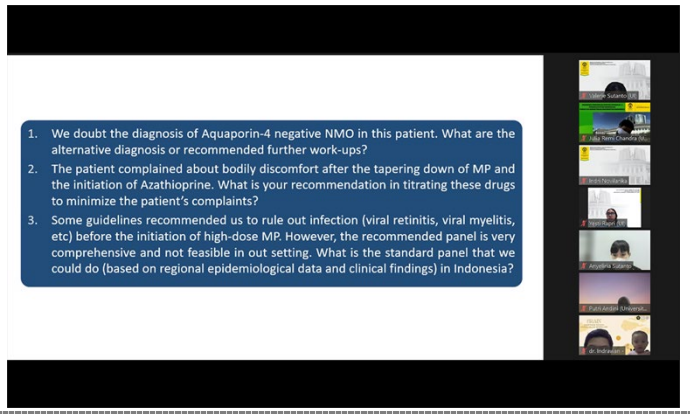


モニタに映し出される接続施設

撮影場所：九州大学病院

接続を担当するインドネシアのエンジニア（左）

撮影場所：九州大学病院



掲示されたスライド

撮影場所：九州大学病院

コメントするDr.藤井（中央）

撮影場所：九州大学病院

九州大学病院の様子

撮影場所：九州大学病院

カンファレンス終了後の記念撮影

撮影場所：九州大学病院